

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	若葉保育園
日時	令和7年5月13日

1. 活動テーマ

<テーマ>

0歳児…葉っぱにふれてみよう

<テーマ設定理由>

・風が吹いたことに身体で感じ、「ん？」と上を見上げ、桜の木の葉に気が付いた

2. 活動スケジュール

・4名参加する。
・午前睡眠のタイミングもあり、1グループ2名 2グループ1名 3グループ1名で行う。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定



4. 探究活動の実践

<活動内容>

・葉や、枝のついている葉を手の届きやすいところに置いた。
・たくさんの葉を見て、警戒心を受けとめ、保育士が葉に触れている様子を見せて、手を伸ばしやすくする。
・保育士が、目の前で揺らしたり、手を添えて持ってみた。
・葉に穴が空いていたので保育士が覗き込んで子どもを見ると、じっと見始め「いないばあっ」で微笑んだ。
・自分から手を伸ばして葉っぱに触れ、長い枝を持ち横に振り、保育士が「触れたね」と声をかけるとにこっとする。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り>



・沢山の葉っぱを見て、手を伸ばさず、しばらく葉っぱを見る。
・異年齢児が、葉っぱを目の前で上下に揺らしてあやしてくれたことで、葉の動きを見て微笑み、手を伸ばして触れようとする。
・保育士が、葉の穴から覗き込み「どこかな」「いないいない」と声をかける。反対の穴をじっと見ると保育士が見えて、表情が和らぎ、「んっ」と声を発して微笑む。
・葉っぱに手を伸ばし、葉の先に触れて持ち上げようとする。保育士に「できたね」と手を叩いてもらおうと嬉しくなり、長い枝の葉を持ち上下に振って声を出して喜ぶ。
・ちぎった葉を見つけて身体を前に出して手を伸ばしてつまむようにもなった。
・保育室では葉を、紐にぶら下げて見せると揺れている葉に目を向けて、側に近寄り手を伸ばして触ろうとする。窓に吊るすと風に揺れていることに気が付きしばらく、上を見上げて葉の動きを見ていた。

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・一枚の葉を手渡しして、葉に触れてきた。今回は、たくさんの葉や枝についている葉を見てどのように興味を持っていくのか、興味持てるような関りを考えていった。
・たくさんの葉を見て、警戒心からか、葉をしばらく観察していた。子どもの自然な動きを大切に、保育士は言葉も多くせず表情、仕草で関わるようにした。異年齢児や保育士と一対一で、葉っぱを通して、触れ合い遊びをすることで葉への興味に繋がった。赤ちゃんは、人との触れ合いを通して興味へ繋がると感じられた。そして、言葉を多く発しなくてもゆったりとした流れの中で表情仕草優しい声掛けが大切な環境だと気づいた。
・今回は、保育士や異年齢児との関りの中で、葉に触れて楽しめた。今後は、散歩や遊びの中で子どもが自然と葉に目を向けて、手を伸ばして、子どもの気づきに言葉で返して共有していきたいと思う。